


6月の「図書館おすすめ絵本」です


中央図書館では小さな魚を5匹、飼いはじめました。館内には植物もたくさんあり、読書で疲れた目を癒してくれます。ぜひ遊びにいらしてください。

	書名	このあとどうしちやおう	分類	Eヨ
	著者	ヨシタケ シンスケ/作	出版社	ブロンズ新社
<p>しんだおじいちゃんの部屋を掃除したら『このあとどうしちやおう』と書かれたノートがあったんだ。それには「てんごくに行くときのかっこう」とか「みんなをみまもっていくほうほう」とか書かれていたんだ。 おじいちゃんはどんな気持ちでこれを書いたのかな。</p>				

* そのほかの新着絵本 *

- 『こぞうさんのおきょう』 お経を忘れた小坊主さんにうさぎがお経を教えてくださいました
 『さきちゃんのくつ』 新しいくつを買ってもらったら前のくつはどうなるの？
 『まって』 ちょっとだけ足を止めたらすてきなものが見えてきます
 『路線バスしゅっぱつ!』 バスのしくみやのり方を覚えておでかけしよう

ほか

	書名	ちいさいおうち	分類	Eバ
	著者	バージニア・リー・パートン/文絵 石井 桃子/訳	出版社	岩波書店
<p>しずかないなか町に、きれいな小さいおうちがたっていました。小さいけれど丈夫なおうちで、ながいあいだ丘の上にたっていました。 ある日大きなどうろができて人もたくさんやってきて、小さいおちは大きなまちにのみこまれそうになりました。そんな時小さいおうちを大切にしてくれる人があらわれました。</p>				

* そのほかのおうち絵本 *

- 『おうちがいちばん』 さびしいこともあるけれどやっぱり自分のおうちが一番です
 『おうちでんしゃはっしやしまーす』 おうちでんしゃはどこでも行けるのです
 『おうちにいれちゃだめ!』 生き物が大好きな男の子とお母さんの対決の結果は？
 『だれのおうち?』 地球にくらす生き物はみんな大切なおうちがあるので

ほか